

＋ エイズ対策のキーパーソンたち

中四国地方のエイズ予防を ゲイコミュニティと 関係諸機関の 連携で！



HaaTえひめ代表／BRIDGEプロジェクト
新山 賢さん

フリーランスのWEBデザイナーをやりながらエイズ予防の団体へHaaTえひめ代表を務める新山さんに突撃インタビュー！

MASH大阪(以下M)：新山さんといえば、中四国地方を飛び回って活動してる方っていうイメージなんですが、どこでどんなことをやっておられるのか教えてください。

新山：まず、中四国のゲイタウン向けにエイズ予防を呼びかけるコミュニティペーパーをつくり、配布しています。中四国地方にはゲイ向けのバーなど商業施設が全部で60軒くらい。HaaTえひめが全店に郵送しています。次に、ゲイ向けクラブイベントでMASH大阪と連携しているへやる！プロジェクトへのキットを配布しています。三つ目は、松山、高松、徳島のゲイタウンでのコンドーム配布。

M：全部ひとりやってるわけではないですよね……(汗)

新山：もちろん、へHaaTえひめには5、6名のスタッフがいますし、事あるごとに中四国各地で活動している団体とも連携しています。もちろんコミュニティペーパーを置いてくれるゲイバーのママさんたちの協力もあります。というか、活動をはじめるときに仲間になったのは、実はママさんたちから教えてもらったことが大きかった。M：そのあたりのいきさつを教えてくださいませんか？

新山：僕がゲイデビューしたのは1999年ですが、周囲でエイズになる方もいて、一気にエイズに関心が向いた。そんなとき、バーのママさんたちから「男同士のセックスには性病に罹り

やすい行為がたくさんあるのよって教えてもらった。でもそういう情報は身近にはなかったから、2000年にゲイ情報サイトを立ち上げ、少しずつ情報を発信しはじめた。2006年にはへHaaTえひめを立ち上げ、松山市在住のゲイの人たち向けにコミュニティづくりとエイズ予防の両面で活動をはじめたわけです。しかし活動するうちに、小さな地域で活動することの限界を感じ始めました。活動を小さな地域に限ると、リソース・資金源や人材も限られ、活動が小さくなる。そんな状況に問題を感じて、自分たちの活動を中四国四県に広げる計画を立てた。トヨタ財団に助成金を申請したわけです。

M：それで活動が一気に広がった？

新山：そうです。申請の段階で四国四県への配布活動をすでに計画していましたので、2010と2011の二年間は助成金を利用して確実に活動を広げることができました。一方で、自分たちの活動が中四国のゲイコミュニティにどの程度効果をもたらしているのだろう、という疑問もずっと感じていました。そうした疑問が後押ししてくれたのが、この分野で長年研究を行っている名古屋市大(当時)の市川誠一先生とお会いする機会があり、以後、研究活動にも協力するようになったわけです。

M：研究に参加するようになって発見がありましたか？

新山：ええ。たとえば、愛媛県は東予、中予、南予の三つの地域に分かれるのですが、地域によってゲイの人たちの予防や検査行動に違いがあることがわかりました。そうすると地域ごとに予防プログラムを立てやすくなりますし、行政に対しても要求を出しやすくなります。ただ、中四国の行政にはゲイ男性はまだまだリアルな存在として見えていないので、要求はなかなか通らないですね。難しいです。

M：そんな困難にもかかわらず活動を続けていられる原動力はどこから？

新山：自分でもよくわかりませんが、ひとつには、生まれ育った愛媛が好きだし、今後もずっと住み続けるつもりだから、そこにある問題とは向き合っていきたいと思っています。

M：貴重なお話、どうもありがとうございました。

「大切な情報なのに身近にはなかった！」そんな思いが彼を突き動かし、情報発信を届ける為に立ち上げたゲイ情報サイト。ゼロから作り上げ、手探りで情報を更新しながら継続してきた結果、「大切な情報がすぐそばにある環境」に変えていった新山さん。地元愛媛に特化した情報サイトはもちろん今も健在しています。旅行の際にはお役立てください。



発行：MASH大阪
〒530-0027 大阪市北区堂山町17-5 翼ビル4F
☎&☎ 06-6361-9300
http://www.mash-osaka.com/

この資料は「平成29年度同性愛者等向けコミュニティセンター事業」に基づき制作されました。

秋号の紙面VIEW

- 2 面 時事ネタ WATCH
- 3 面 トナリの芝生 大阪府守口保健所
- 4 面 知られざる偉人伝
- 7 面 海外男街通信「Sydney」

M：全部ひとりやってるわけではないですよね……(汗)

新山：もちろん、へHaaTえひめには5、6名のスタッフがいますし、事あるごとに中四国各地で活動している団体とも連携しています。もちろんコミュニティペーパーを置いてくれるゲイバーのママさんたちの協力もあります。というか、活動をはじめるときに仲間になったのは、実はママさんたちから教えてもらったことが大きかった。M：そのあたりのいきさつを教えてくださいませんか？

新山：僕がゲイデビューしたのは1999年ですが、周囲でエイズになる方もいて、一気にエイズに関心が向いた。そんなとき、バーのママさんたちから「男同士のセックスには性病に罹り

やすい行為がたくさんあるのよって教えてもらった。でもそういう情報は身近にはなかったから、2000年にゲイ情報サイトを立ち上げ、少しずつ情報を発信しはじめた。2006年にはへHaaTえひめを立ち上げ、松山市在住のゲイの人たち向けにコミュニティづくりとエイズ予防の両面で活動をはじめたわけです。しかし活動するうちに、小さな地域で活動することの限界を感じ始めました。活動を小さな地域に限ると、リソース・資金源や人材も限られ、活動が小さくなる。そんな状況に問題を感じて、自分たちの活動を中四国四県に広げる計画を立てた。トヨタ財団に助成金を申請したわけです。

M：それで活動が一気に広がった？

新山：そうです。申請の段階で四国四県への配布活動をすでに計画していましたので、2010と2011の二年間は助成金を利用して確実に活動を広げることができました。一方で、自分たちの活動が中四国のゲイコミュニティにどの程度効果をもたらしているのだろう、という疑問もずっと感じていました。そうした疑問が後押ししてくれたのが、この分野で長年研究を行っている名古屋市大(当時)の市川誠一先生とお会いする機会があり、以後、研究活動にも協力するようになったわけです。

M：研究に参加するようになって発見がありましたか？

新山：ええ。たとえば、愛媛県は東予、中予、南予の三つの地域に分かれるのですが、地域によってゲイの人たちの予防や検査行動に違いがあることがわかりました。そうすると地域ごとに予防プログラムを立てやすくなりますし、行政に対しても要求を出しやすくなります。ただ、中四国の行政にはゲイ男性はまだまだリアルな存在として見えていないので、要求はなかなか通らないですね。難しいです。

M：そんな困難にもかかわらず活動を続けていられる原動力はどこから？

新山：自分でもよくわかりませんが、ひとつには、生まれ育った愛媛が好きだし、今後もずっと住み続けるつもりだから、そこにある問題とは向き合っていきたいと思っています。

M：貴重なお話、どうもありがとうございました。

「大切な情報なのに身近にはなかった！」そんな思いが彼を突き動かし、情報発信を届ける為に立ち上げたゲイ情報サイト。ゼロから作り上げ、手探りで情報を更新しながら継続してきた結果、「大切な情報がすぐそばにある環境」に変えていった新山さん。地元愛媛に特化した情報サイトはもちろん今も健在しています。旅行の際にはお役立てください。

こちらのHIV検査場はすべて無料・匿名です

大阪府版(2017年8月25日現在)

無料・匿名でHIV検査を受ける事ができます。検査日時については各保健所へ直接ご確認ください。*道順等の詳細についても、各保健所等へ直接お問い合わせください。

[大阪市]	
北区保健福祉センター ● 大阪市北区扇町2-1-27 ☎06-6313-9882	月・火・木・金曜日／9時30分～11時 水曜日／14時～15時30分
中央区保健福祉センター ● 大阪市中央区久太郎町1-2-27 ☎06-6267-9882	火・水・木 ●／9時30分～11時 第1金曜日★(HIVのみ)／14時～15時
淀川区保健福祉センター ● 大阪市淀川区十三東2-3-3 ☎06-6308-9882	月曜日／14時～15時30分 火曜日／9時30分～11時
chotCASTなんば(大阪検査相談・啓発・支援センター) ● 大阪市浪速区難波中1-6-8 イチエイ総合ビル3F 火・木・土曜日／☎06-6632-0632 日曜日／☎06-4256-8681 ※いずれも検査実施時間帯のみ。	火・木曜日／18時～20時(先着50名) HIV・梅毒・B型肝炎 土・日曜日★／14時～15時30分(先着50名) HIV・梅毒・B型肝炎 ※土曜日は13時30分に整理券を配布。 日曜日のみ事前予約制→ (スマホ)http://www.npo-jhc.com/namba-kensa/ (フューチャーホン) http://www.npo-jhc.com/namba-kensa/m

[高槻市]	
高槻市保健所 ● 高槻市城東町5-7 ☎072-661-9332	毎週金曜日／9時30分～10時30分
[豊中市]	
豊中市保健所 ★ 豊中市中塚塚4-11-1 ☎06-6152-7316	第1火曜日・第3木曜日／13～14時
[枚方市]	
枚方市保健所 ● 枚方市大垣内町2-2-2 ☎072-807-7625	毎週火曜日／10時～11時30分

[大阪府]	
池田保健所 ● 池田市満寿美町3-19 ☎072-751-2990	第1・2火曜日／13時30分～14時30分
吹田保健所 ● 吹田市出口町19-3 ☎06-6339-2225	第2・3・4金曜日／9時30分～10時30分
寝屋川保健所 ● 寝屋川市八坂町28-3 ☎072-829-7773	第1・3水曜日／9時30分～10時30分
守口保健所 ● 守口市京阪本通2-5-5(守口市庁舎隣) ☎06-6993-3133	第2・4月曜日／10時～11時
八尾保健所 ● 八尾市清水町1-2-5 ☎072-994-0661	第2・4木曜日／9時30分～10時30分
富田林保健所 ● 富田林市寿町3-1-35 ☎0721-23-2683	第1・3水曜日／13時30分～14時30分
和泉保健所 ● 和泉市府中町6-12-3 ☎0725-41-1342	第2・4水曜日／9時30分～11時
岸和田保健所 ● 岸和田市野田町3-13-1 ☎072-422-5681	第1・3火曜日／13時30分～14時30分
茨木保健所 ★ 茨木市大住町8-11 ☎072-624-4668	第1・2・4木曜日／13時～14時 HIV・梅毒
四條畷保健所 ★ 四條畷市江瀬美町1-16 ☎072-878-1021	第1・3月曜日／9時30分～10時30分 HIV・梅毒
藤井寺保健所 ★ 藤井寺市藤井寺1-8-36 ☎072-955-4181	毎週水曜日／9時30分～10時30分 HIV・梅毒
泉佐野保健所 ★ 泉佐野市上瓦屋583-1 ☎072-462-7703	第1・3月曜日／13時～14時 HIV・梅毒

マークの説明

● HIV検査と同時にクラミジア及び梅毒の検査も無料で出来る施設です。
★ 即日検査できる施設です。*通常の検査では一週間、即日検査はその日のうちに結果がわかります。

エイズ、性感染症について、気軽にご相談ください！

HIV陽性とわかった時、またエイズや性感染症について相談したり、情報が欲しい時、大阪には相談できるサービスや支援があります。気軽にお問い合わせください。

HIV検査や性感染症などに不安がある方 コミュニティ センター ディスタ community center dista 性感染症について知りたい、相談や心配事がある。そんな方はご相談ください。お話を聞き、一緒に考えるお手伝いをします。電話相談と対面相談を行っています。相談員にはゲイの人もいて安心です。 distaでビタッとちえつくん 2017. 9/8(金) 17:00～20:00 場所: dista 2017. 11/11(土) 17:00～20:00 場所: dista ☎06-6361-9300 月曜・水曜～日曜／17:00～22:30 火曜休 http://www.dista.be/	HIV陽性とわかって間もない方 ひよっこクラブ HIV陽性とわかって間もない人たちのためのグループミーティング HIV陽性とわかって間もない人同士が集い、安心できる場所で情報や体験を話したり聞いたりする事で、これからの生活のより良いスタートにつなげていくプログラムです。 http://www.hiyokkoclub.com/	HIV陽性のゲイ・バイセクシャル男性 Cafe・Bar an opportunity ～ただのきつかけ～ HIV陽性のゲイ・バイセクシャル男性がふらっと立ち寄れる場所。谷町6丁目駅から徒歩3分のところにあるお店で、毎月第二日曜日14時～18時に開催しています。 注：月曜日が祝日の場合には第三日曜日 詳細はこちら http://www60.atwiki.jp/anopportunity/
HIV陽性の方、パートナー・家族の方も サポートライン関西 匿名で利用できる電話相談です。かけてきた方の番号は表示されません。あなたの疑問や心配ごとについて、一緒に考えます。スクリーニング検査で陽性となった方にもご利用いただけます。 ☎06-6358-0638 月曜・水曜(夜休) 19:00～21:00	エイズに関する様々な相談をしたい方 エイズに関するご相談を電話で受け付けています。お気軽にご連絡ください。 ☎0120-177-812 (無料) ※携帯電話からは、03-5259-1815まで(有料) 月曜～金曜／10:00～13:00、14:00～17:00(祝日は除く)	

[南界堂通信 第20号 編集後記]

●初めて帯状疱疹になりました。あまりの痛さにやる気まで奪われてしまい毎日が無気力症候群。帯状疱疹に伴う神経痛には今後ずっと悩まされそう予感。(伴仲)

●昨年10月に台北パレードに行ったのが昨日のようですが、もう今年のが近づいて来ました。出来ればまた行く予定ですが(同性婚法制化で盛り上がりそう)、1年経つのが年々速くなっているのが怖いですw(大畑)

●マルディグラパレードの頃。シドニー滞在中、街中で道を聞かれたり、駅で乗り場や行き先を尋ねられたりしました。旅行者には見えないほど馴染んでいたのでしょうか。(泰平)

●自宅に帰るたびに憂鬱になる今日ごろ。電化製品、家具そして本、捨てたいモノは山ほどあるのに気力も体力も足りなくて、変わらぬ景色が続きます。嗚呼……どなたか秘訣を教えてくださいませ(涙)(哲)

時事ネタ WATCH 中高年MSMと暮らし

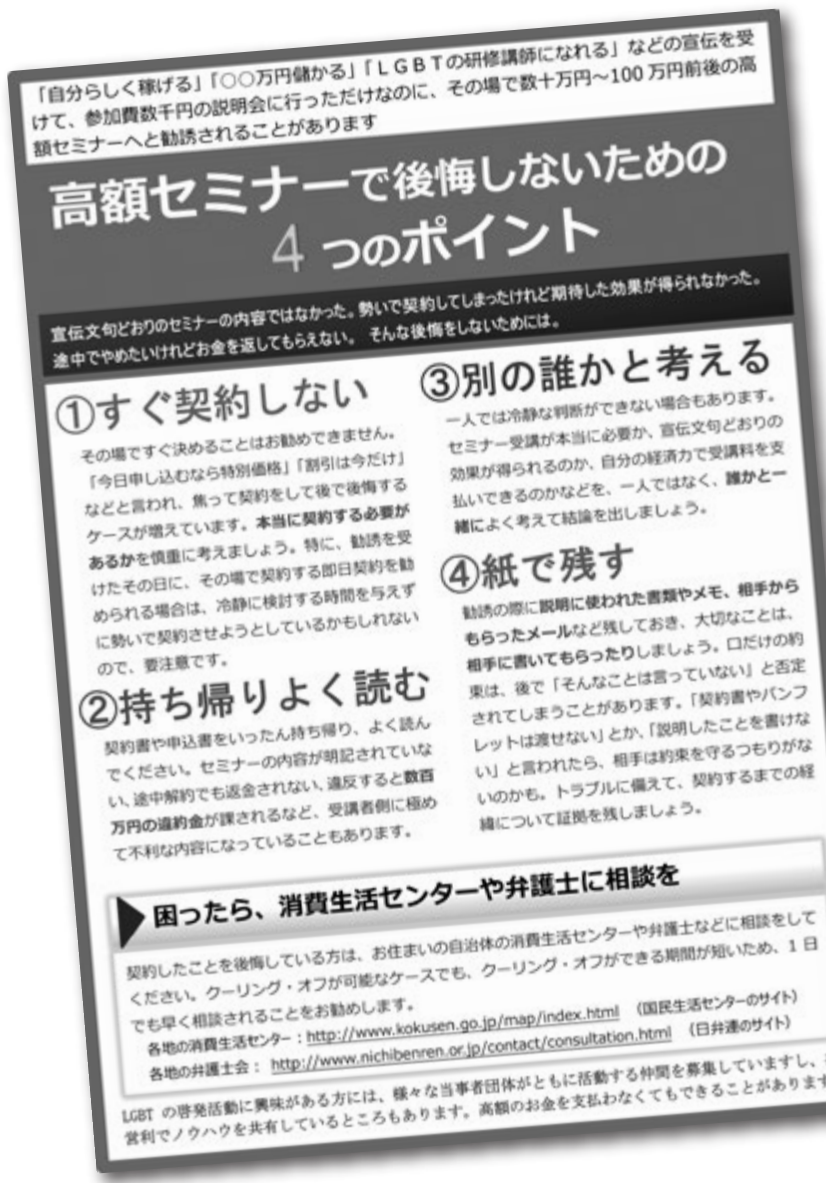


「あなたも人権講師になれる？」

「LGBTブームの功罪」

「LGBTの研修講師になれる」!?

最近、LGBT当事者による自己啓発ビジネスや高額セミナー商法が問題になっています。それらに対する注意書きを、トランスジェンダーの活動家・遠藤まめたさんが、「高額セミナーで失敗しないための4つのポイント」としてまとめています。



「自分らしく稼げる』『〇〇万円儲かる』『LGBTの研修講師になれる』などの宣伝を受けて、参加費数千円の説明会に行ったんだけど、その場で数十万円〜100万円前後の高額セミナーへと勧誘されることがあります。」との事です。

実際にセミナー料を支払ったが返金をしてほしいという人達から相談を受けている堀江哲史

弁護士(名古屋弁護士会)に聴きました。「講演を聞いて関心を持って会ったところ、最初は個別に話を聞いてくれるという事で、1回1万円とかいう話だったのが、その内にセミナーに誘導されて、という流れです。支払った金額が100万円を超える人もいます。いわゆる起業セミナーで、人脈作りの方法や話し方とかを教

えて、『あなたも講師になれる』というものです。その相談者はカフェをやりたいとの事で、自営をしたいというセクシュアルマイノリティの心理を上手くついているようにも感じました。相談者は、途中で疑問を抱いて止めたと言ったのですが、止めてさせてくれず、

そこで私の所に相談に来られました。クレジット契約でしたので、クレジット会社に支払い停止の要請を送ったら、ようやく止めることが出来ました。」この「講師」のブログでは、「確かに、私が有料のサービスとして提供しているもののコンサルティング価格は、中には数十万円するものもあります。」と書かれていました(現在は削除)。

5月に東京で勉強会

こうした中、5月に東京でレインボーウィークの一環で「カラフル連絡網主催で、」セミナー「LGBTめぐる金銭被害を議論」と題して取り上げられました。全国から30人程参加して議論したようです。

勉強会を企画した「レインボープライド愛媛」のエディさんにお話を聴きました。

「問題の当事者は、行政からの信頼を利用して広く高額ビジネスにつなげているといった状況があります。深刻な問題だととして2時間半、時間が足りないほど熱心に話し合われました。実は、この当事者には直接公的な立場でそのような仕事をすべきでない」と忠告したのですが、「ビジネスとして何が悪いのか」と、聞き入れることはありませんでした。

確かに、セミナー等もビジネスとしてはあり得るのかもしれない。しかし、行政の人権啓発講師として、いわば公の立場で名前を売り、市民の信頼を得て、近づいて来た人に100万円程度もの高額な契約をせざるを得ないところに持って行くのは、やはり問題だと思えます。理解や啓発を進めてくれる行政の皆さんまでも被害者になってしまう点が問題です。LGBTコミュニティ全体の信頼を落としかねない、と強く懸念しています。」

確かに、研修の講師として自分の体験を話すことも自由ですし、ビジネスとして「コンサルティング」をするのも自由です。しかし他方で、前記のように解約を希望して弁護士に相談する人達がいるのもまぎれもない事

「自分らしく虹色に輝く」!?

勉強会に参加した永易至文さんは、ツイッターで「セミナー等へ引っかけたという当事者をどう防ぐかについて次のように指摘しています。」

「セミナーに応募し『人権講師』になりたいという人は自分の苦しかった体験を生かし、講師とおなじように自分も苦しんでいる人を救いたい、そして社会を変えたい、それがその本当の生き方、自分のミッションだ、と意気込んで応募し、まさにそこにつけこまれて高額なセミナー費や指導料を取られている。昨今のLGBTブーム下、「本当の自分」「自分らしく虹色に輝く」というフレーズは氾濫し、承認願望にかられて惹きつけられている点では、活動家にもおなじ地盤に立っている自覚が必要だ。」

人間は誰も「承認願望」というものがあり、自分を隠してきたり辛い経験もしたセクマイ当事者の場合、尚更それが強い面もあるのかも知れません。永易さんも指摘するとおり、「本当の自分」「自分らしく輝く」といったLGBTブームの功罪が問われているように思えます。



地下鉄谷町線であれば守口駅、京阪電車であれば守口市駅から徒歩5分、大阪のベッドタウンでもある守口市・門真市を管轄する大阪府守口保健所にお邪魔してきました。

大阪府守口保健所

大阪府守口市京阪本通2丁目5-5 ☎06-6993-3133
http://www.pref.osaka.lg.jp/moriguchihoken/

【検査日時】
第2・4月曜日 / 10:00 ~ 11:00



庁舎と入口が一緒になっていることもあり、1階フロアはいろんな人で溢れているので、「人の目を気にすることなく入っていきやすい!」と受検者の評判もいい。

実際に受検者数も前年度に比べると増加傾向にあるとのこと。幅広い年齢層の方が受検に訪れるらしく、仕事の合間をぬって作業着姿で受検に来る方も多いそう。

保健師が問診、検査は看護師2名で対応するのだが、和気あいあいとした雰囲気づくりもあって、看護師さんと受検者が談笑する光景も見受けられるとの事。



地域保健課感染症チームは5名の保健師さんで構成されていて、月に2回の検査日には毎回平均10人前後の受検者が訪れるそう。

広い待合所にも大きな窓があるのので、開放的で息苦しさなど微塵も感じられない。



また問診室をはじめ個室スペースもたくさんあるので、相談やカウンセリングなど、保健師さんとゆっくりお話することもできる。

管轄地域にある中高大学施設との連携も盛んで、HIV/性感染症の予防啓発資材の提供やコンドームの配布なども積極的にしている。「物価が安いので生活がしやすい、ご近所さん同士密な関係を築いていて、人情的にも温かい街です。」

守口だいにこんなに門真れんこん、有名でしかも美味しい地産物もありますよー」地元出身の保健師さんが熱く語って下さいました。

平坦な土地柄もあり自転車文化が色濃く、実際に自転車の保有率も高いとのこと。サイクリングや散歩に淀川の河川敷も大人気らしい。

検査や結果返しの後に、川岸を散歩しながら日光浴してみたいかがでしょうか。

追っかけエィズ + 番 外 編

パートナーとのセックス

HIV感染が判明した時

HIV感染が判明した後、誰かとセックスをする時にうつしてしまうのではないかと不安になってしまふことがあります。

「精液・先走り液・血液にHIVは含まれていて、口・肛門内・尿道の粘膜や傷口に触れると感染する可能性が出てくる。」ということを知っているからこそ、「HIVに感染している自分からは誰か他の人にうつしてしまう」と思ってしまうだけであへ、「こんな病気で申し訳ない」という気持ちや、「こんなつらい思いをさせたくない」という気持ちがあるのかもしれない。

「あなた自身」が不安なのか、「パートナー」が不安なのか、「パートナーが不安に思ってるんじゃないだろうか」という心配なのかというところ、どうして心配されているのかをお話したいだいています。

あなたにできる感染予防の工夫があるのかどうかもお話ししたくのですが、「治療そのもの

が予防になるという考え方(Treatment as Prevention)』についてご案内することがあります。

HIVの治療について

HIVの治療を受けずに身体の中にウイルスが沢山いるときの状態で、抗HIV薬を内服して身体の中のHIVをコントロールできている状態では、他の人にうつしてしまうかもしれない可能性が全然違います。研究として発表されたデータでは、HIVを検出限界以下にコントロールできている状態の陽性者とHIVに感染していないパートナーとの間では感染が起きなかったそうです。このことを「治療そのものが予防になる」という考え方で言います。

このことをまずは知識として持っていたところで、そして、自分自身のウイルス量がどうなっているかを把握していたくこと、そのうえで、現状だと感染の可能性があるのかどうかを考ええてもなっています。

文 ● HIVサポートライン 関西

NPO法人CHARMによるHIV陽性の方や家族、パートナーのための電話相談。病気や治療のこと、医療費や生活費、障害や介護保険など制度利用について、学校生活や仕事、恋愛やセックスの悩みなど、病気とともに生きる上で起こる様々な問題について相談に応じている。相談日時は毎週月・水曜日の19~21時(祝日、年末年始は休み)、匿名での相談が可能。

HIV 陽性の人とパートナー・家族のための電話相談

☎06-6358-0638

(月・水19~21時 / 祝休)



